

## 精米 JAS でメーカーとしての地位を確かなものに

精米 J A S によって、精米の品質について拠りどころとなる一定の基準が示されたことは、これからの米の流通と消費に少なからず変化をもたらすことになるものと思います。

何を以って精米の品質とするか。これまで精米事業者は業界が定めた品質ガイドラインに沿って製品化してきましたが、消費者にそのことは伝わることはなく、購入の基準は産地・品種・価格いうことになっていました。

しかし、精米 JAS により明確な品質基準（8項目）ができたことで、産地・品種で選択する場合であっても、まずは基準を満たす品質であるかどうかを選択のベースになってくるものと思います。ともするとネガティブにとらえられがちなブレンド精米についても、品質基準を満たしていれば、購入されるようになるでしょう。

これまで培ってきた技術を駆使し、食味を念頭に、原料である玄米を加工・選別して確かな品質の精米（製品）を作り上げてきた精米事業者ですが、今後はブレンド精米製品への活用等、商品政策に精米 J A S を活用することによって、精米製造メーカーとしての地位が確かなものになってくるものと思います。

昨年、初の精米 J A S 認証事業者が誕生し、その後も認証の申請が続いています。いよいよ J A S マークが付いた精米製品が店頭に並ぶ日も近くなりました。順調に普及が進むことを期待しています。

2025年4月

一般社団法人日本精米検査認証協会

会 長 飯 野 輝 明